



1月は行く、2月は逃げる、3月は去る

1月から3月は、年度末に向けて1年間のまとめを行ったり、次年度の準備を行ったりするため、月日が足早に過ぎて行くように感じます。つい先日、学校だよりの1月号で新年のご挨拶をしたばかりだと思っておりましたが、気づいてみればもう2月になります。年齢を重ねるほど一年が早く感じることはよく言われる話ですが、昔より、「時は金なり」といったように、時間というものは取り返しのつかない大切な宝のようなものだと伝えられてきました。どんな人にも等しく与えられているものが時間です。その時間をどう使うかが、その人の生き方や在り方につながるのでしょう。

折しも、3年生のみなさんは、いよいよ受験真最中で、踏ん張りどころとなります。ここで試験までに残された時間をどのように過ごすのか、それは大きな成果になって表れるでしょうし、そこへの惜しまない努力は、きっと後の人生や生き方に影響を及ぼすでしょう。一方、1、2年生にとっては、今の3年生の姿は一年後あるいは二年後の自分の姿です。先を見据えて、日々を大切にしていきましょう。

☆キャリア教育～自分が自分として生きるために「学び続けたい」「働き続けたい」～

今、子どもたちには、社会の激しい変化に流されることなく、将来、社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現するための力を身につけることが求められています。学校ではこの視点に立って「キャリア教育（生き方教育）」を進めています。今号では、1月に行った1・2年生の取組を紹介します。

① 1年生職業講話（1/30）～将来の自分の像を具体的に描く手掛かりにする～

1年生は社会で働く様々な職業の方々をお招きし、聞き取り学習を行いました。この度は、枚方市役所商工振興課を通じ、地元の様々な企業様から講師をお招きし仕事の内容ややりがいについて話を伺いました。

＜(株)昭和工業:工業用ブラシ製造・(株)テイク・システムズ:電気機械製造・(株)ケアライフ:総合介護(株)恩地食品:食料品製造・(株)ノボル電機:拡声装置製造・(株)Mizkan 大阪工場:食料品製造・(株)橋電気工事:電気設備工事＞

（生徒の感想より一部抜粋）

- ・「どんな仕事でも、お客様が喜ばれたり必要とされたりすることが嬉しい。という話が印象的だった
- ・働くことは大変なこともあるが、それぞれにやりがいがあることが、心に残った。

② 2年生職場体験学習（1/29・30）～望ましい勤労観、職業観の育成～

2年生では地域の事業所等（53箇所）のご協力により、2日間の職場体験を行いました。日々、学校で学んでいることが、実社会とどのようにつながるのか、実際に社会で活躍する方との出会いや体験を通して、身をもって「社会のルール・マナー」や「学びの重要性」を実感したことでしょう。

いずれの学年も、実際に職業に就く方からの話や実体験からの気づきを日常に還元していくことで、「学び方」も変わってくることでしょう。生徒のみなさんには、今一度、「自分がどう生きたいのか」「社会にどう貢献したいのか」と、考えを及ぼしてほしいと思います。

